

「森林保全管理協定」を締結しました

比和支所地域振興室 ☎0824-85-3003



本市の豊富な森林資源を有効活用するためには、優良材の安定生産や健全な森林整備を図るとともに、これまで培われた先人の思いを、次世代へしっかりとつないでいくことが重要です。こうした中、市は「庄原の森林」の将来像を描き、次世代に豊かな森林をつなげるための方向性を示すため、本年3月に「22世紀の庄原の森林ビジョン」（以下、「ビジョン」）を策定しました。

庄原市比和財産区（※1）は、このビジョンの理念の実現を目指し、持続的な区有林経営および市の林業振興に寄与するため、10月5日、市内にも社有林を持つアサヒグループホールディングス株式会社（以下、「アサヒGH D」）と「森林保全管理協定」を締結しました。

今後、アサヒGH Dは、庄原市比和財産区と管理委託契約を締結し、保育事業などの林業における一般的な施業のほか、FSC®認証林（※2）とすることで、区有林の付加価値造成にも取り組めます。

※1 庄原市比和財産区

比和地域を区域とする特別地方公共団体で、財産として約860ヘクタールの山林を所有。団体の意思決定や所有する財産の管理・処分は、市と同様に庄原市長が担う。

※2 FSC®認証林

適正に管理されている森林として、国際的認証機関であるFSC（森林管理協議会）の定めた基準・原則を満たしていると認められた森林。

【協定の概要】

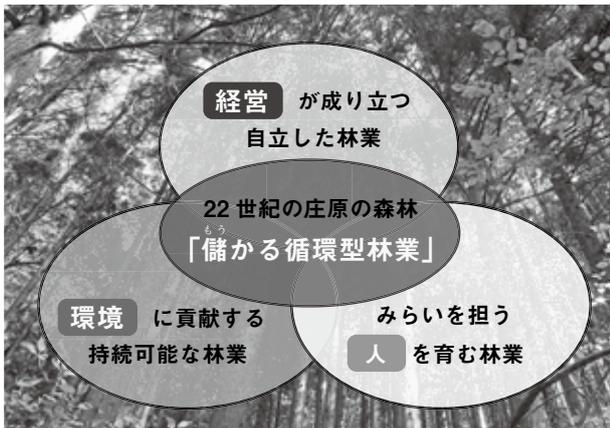
①趣旨・目的

水源涵養（かんよう）（養い育てる）機能の維持増進を念頭に置いて、森林の保全管理に連携して取り組むことで、区有林を次世代につながる循環利用のモデル森林として整備し、「22世紀の庄原の森林ビジョン」の理念の実現を目指すことで、持続的な区有林経営および市の林業振興に寄与する。

②協定期間

10月5日（令和5年3月31日）

※期間は延長可能



「22世紀の庄原の森林ビジョン」が目指す姿